

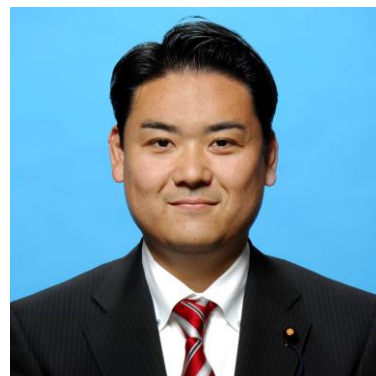


横浜市議員
保土ヶ谷区選出(1期目)



いそべ圭太

政務調査レポート 第11号



今期の所属委員会が決まりました

平成25年第2回定例会が5月14日から5月30日までの期間で開会し、今期の所属委員会が決まりました。

常任委員会が2年連続で

「こども青少年・教育委員会」

特別委員会が1年ぶりに

「基地対策特別委員会」

にそれぞれ所属することになりました。

こども青少年・教育委員会の所管事項

こども青少年・教育委員会は、青少年育成、保育所整備、児童福祉、学校教育、生涯学習などの仕事について審査します。

基地対策特別委員会の所管事項

基地対策特別委員会は、「米軍施設の跡地利用及び早期全面返還の促進等を図ること」が調査研究のテーマとなる予定です。

2年連続で担当する「こども青少年・教育委員会」では、副委員長に就任いたしました。

委員会の役職を務めるのは初めてのことであり、その重責を全う出来るよう引き続き精進いたします。

昨年のこども青少年・教育委員会

昨年のこども青少年・教育委員会は、14回の委員会開催、4回の市内視察、2回の市外視察を行い、横浜市内で発生した児童への重篤な虐待事例3例、市立小学校での重篤ないじめ問題

などの議論や、相次ぐ市立学校の通知票の誤記載などの対応をしました。

特に、市立学校通知票の「児童生徒・保護者による事前確認」については、全国的にも大きな問題として報道され注目を浴びました。その際は、委員会を急ぎよ開催し、私も1番手の発言者（質問者）として厳しく教育委員会の姿勢を質しました。

また、子どものいじめ防止に関する条例や横浜市民の読書活動の推進に関する条例の委員会提案の条例の提案に向けて議論を重ねてまいりました。いじめに関しては、国の法制化の動向もあり引き続き議論をしていくことになりましたが、読書に関しては、5月30日の本会議で可決し、平成26年4月から条例化されます。

詳しくは、ホームページをご覧ください。

基地対策特別委員会

保土ヶ谷区にお住まいの方々にとってはあまりなじみがないと思いますが、横浜市内には現在6か所の米軍施設があり、面積は470ha、このほか提供水域が2か所に設けられています。このうち、上瀬谷通信施設(242ha)、深谷通信所(77ha)、根岸住宅地区(43ha)、池子住宅地区及び海軍補助施設の横浜市域の飛び地(1ha)については、平成16年10月に日米政府間で返還の方針が合意されています。これらの米軍施設の跡地利用及び早期全面返還の促進等を図ることが基地対策特別委員会の役割です。